

2016年

齒科技工士
國家試驗
對策問題集

全國統一國家試驗完全對應

全國齒科技工士教育協議會 編

醫齒藥出版株式會社

問 22 基本形態が2咬頭なのはどれか。

- a 切 歯
- b 犬 歯
- c 小白歯
- d 大白歯

問 23 第一生歯はどれか。

- a 切 歯
- b 犬 歯
- c 小白歯
- d 大白歯

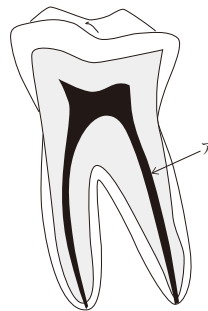
問 24 歯根が植立している顎骨のくぼみはどれか。

- a 歯 槽
- b 根管口
- c 根尖孔
- d 歯髓腔

問 25 小白歯を表す記号はどれか。

- a C
- b I
- c M
- d P

問 26 歯の断面を図に示す。



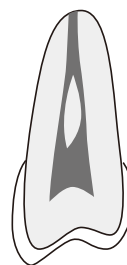
アが示すのはどれか。

- a 髓 室
- b 根 管
- c 髓室角
- d 根尖孔

問 27 線角と点角を合わせたものはどれか。

- a 隅 角
- b 小 窩
- c 隆 線
- d 辺 縁

問 28 根管の断面を模式図に示す。



名称はどれか。

- a 単純根管
- b 分岐根管
- c 網状根管
- d 不完全分岐根管

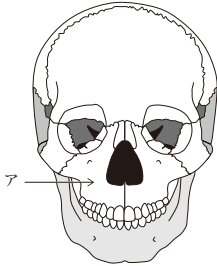
問 50 咬合平面とボンウィル三角で形成されるのはどれか。

- a ベネット角
- b 矢状顆路角
- c 側方切歯路角
- d バルクウィル角

問 51 顎関節を構成する骨はどれか。

- a 上顎骨
- b 側頭骨
- c 口蓋骨
- d 蝶形骨

問 52 頭蓋骨の模式図を示す。



アの名称はどれか。

- a 側頭骨
- b 上顎骨
- c 下顎骨
- d 蝶形骨

問 53 下顎を挙上させる最も強大な筋はどれか。

- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

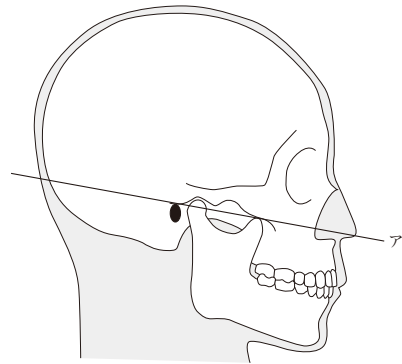
問 54 下顎第二大臼歯を基準点とするのはどれか。

- a HIP 平面
- b 咬合平面
- c カンベル平面
- d フランクフルト平面

問 55 下顎を前方に引き寄せる咀嚼筋はどれか。

- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

問 56 咬合に関する平面の模式図を示す。



アの名称はどれか。

- a HIP 平面
- b 咬合平面
- c カンベル平面
- d フランクフルト平面

問 57 無歯顎者の咬合平面を決定する基準はどれか。

- a カンベル平面
- b バルクウィル角
- c ボンウィル三角
- d フランクフルト平面

問 62 半固定性ブリッジで正しいのはどれか。

- a 咬合力は粘膜負担
- b 連結部の一側が可動性
- c 連続多数歯欠損に適用
- d 支台歯間の平行性が必要

問 63 前歯部ブリッジの支台装置に適用される全部被覆冠はどれか。

- a ピンレッジ
- b 全部金属冠
- c 陶材焼付金属冠
- d ジャケットクラウン

問 64 部分床義歯と比較したブリッジの特徴はどれか。

- a 発音障害が発現しやすい。
- b 装着後の修理が容易である。
- c 天然歯に近い食感が得られる。
- d 咬合力は顎堤粘膜で支持される。

問 65 固定性ブリッジの特徴で正しいのはどれか。

- a 歯質の切削が不要
- b 清掃時に着脱が可能
- c 支台歯間の平行性が必要
- d 機能圧を歯根膜と粘膜で負担

問 66 前歯部ブリッジの支台装置として用いられるのはどれか。

- a ピンレッジ
- b 全部金属冠
- c 4/5 クラウン
- d ラミネートベニア

4. クラウン・ブリッジの具備条件

問 67 歯冠修復物の具備要件のうち審美的要件はどれか。

- a 強度
- b 形態
- c 適合
- d 咀嚼

問 68 歯冠の過小な豊隆が招くのはどれか。

- a 腫脹
- b 炎症
- c うっ血
- d 二次齲蝕

問 69 偏心運動が円滑に行えるように上顎前歯舌側面に付与するのはどれか。

- a パラファンクション
- b アンダーカントゥア
- c アンテリアガイダンス
- d ガルバニックアクション

問 70 生物学的要件はどれか。

- a 維持力
- b 清掃性
- c 耐変色性
- d 機械的強度

問 71 歯冠修復物の隣接面の接触点を回復する意義はどれか。

- a 咬合力の向上
- b 清掃性の向上
- c 早期接触の防止
- d 食片圧入の防止